

新学期へ感染防止手引

大阪市教委 休校基準や授業対応

新型コロナ

大阪市教育委員会は1日、新学期に向けて、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための注意点をまとめたマニュアルを作成し、全市立学校、幼稚園に通知した。休校する際の基準や運動会の延期、技術・家庭で調理実習を避けるなど具体的な対応を盛り込んだ。

(北瀬太一)

文部科学省は学校再開に向け、①換気の悪い密閉空間②人の密集③近距離での会話や発声——の3条件が重なる場を避けるよう求める指針を出している。市教委のマニュアルでは、登校前に家庭で検温する。空けて接するよう指示した。

子どもの感染が判明した場合、消毒や感染経路確認のため、当日や翌日を臨時休校とする。その上で▽子どもが感染したり、濃厚接触者が2人以上いたりしたクラスは学級閉鎖▽同年で複数が学級閉鎖になれば学年閉鎖▽学年閉鎖が複数になると、臨時休校を検討——と判断の基準を示している。閉鎖期間はいずれも14日間。

食など場面ごとにとるべき対応も提示した。授業では、技術・家庭(家庭分野)で調理実習を見送り、体育はできる限り屋外で実施、柔道やラグビー、ダンスなどは体が接触しないようにする。給食時は飛沫感染を避けるため、机を向かい合わせにせず、会話も控える。

4、5月に修学旅行など宿泊行事を予定している学校に対しては、行事

賞 糸糸 月日

◆ マニュアルの主な内容

技術・家庭	調理実習は見合わせる
体育	柔道、ラグビー、ダンスなどで体の接触や大声の応援などを避ける
音楽	歌唱や口に触れる楽器の演奏を見合わせる
英語・外国語活動	握手やハイタッチは控える
宿泊行事	4、5月の行事は延期・中止し、6月以降は改めて決定
運動会	2学期に延期し、やむを得ず1学期に行う場合は保護者の理解を得る
給食	つばを飛ばさないよう机を向かい合わせにせず、会話は控える
部活動	対外試合や演奏会などは禁止。柔道の乱取りなど対人練習は避ける

の延期や中止を指示。6月以降の行事日程は改めて決める。運動会を1学期に予定している場合には、2学期に延期するよう求めた。部活動では対外試

合や合同練習、演奏会を禁止した。市立学校、幼稚園は4月8日に1学期の始業式を予定しているが、変更の可能性もあるという。

松井一郎市長は「学校を再開するには子どもたちの安全が最も大切。リスクを回避し、学校で学力と体力を向上させる機会をつくる」と強調した。